

〈労務者の歴史〉つづきについて

労務者の歴史調査会

編集委員会のため、この要請でなんとか形ヲ
けをしてへ労務者の歴史―上―を書いたが、
やはり、勉強不足がたたってへつアキが今
号には書けなかつた。

次号からの予告(?)としてのメドは立つた
ので一応おまかなワクだけお知らせしてお
きます。二回目は、明治篇として、三回目は
大正、昭和(戦前)編として、四回目は戦後
編となる予定であり、それに補足資料編を一
回や、て、次に個々の労務者のコトの歴史を
物誌風に書いてみたいと思ひます。

なお、何分にも切り捨てられてきた層の歴
史であるため、わからないことが多くあり
ます。読者の中で、これはという本や資料が
あつたらへ労務者の歴史調査会までお知ら

せ下さい。

又、文章が硬い、学向的すぎるなどの意見を
もらいました。が、調査会としては、手帳を知
るのに箱一杯であるため、余裕のもつた文章
を書くことのできないことをおわびしておき
ます。へ労務者の歴史―上―はいずれ全体
区書き終えたらパンフレットにするつもりな
ので、その段階で書き直して大抵に手を加え
る予定です。

(7)

○テレビの四派

テレビが好きなのはおれたちに共通の
ことだ。好きというばかりじゃなくて、
ほかにヒマつあしの方法がないこともあ
る。だから飯場では、テレビのチャンネ
ルをどこに廻すかで口喧嘩ぐらいはめず
らしくない。令けてみると、スーパードラ
マ派と歌謡派だ。もう一つ加えれば
クイズ派だ。ニュース派はまずない。

資料 第一次金ヶ崎暴動

「箱も美しく」

その(に)行政編

岩田秀一 編

西成の無活地帯は、東田をはじめ東入船、西入船、海道、甲岸、東葎、西葎、東四糸、曳船、
今池、山王町にまたがる同区北東部の一区、約一キロ四方で定住者は約一万三千世帯、三万六
千人。このうち東入船、西入船、海道、甲岸、東葎町一帯を「金ヶ崎」とよび山王町一三丁
目を「ヤマ」とよび山王町四丁目を日本三大遊郭の一つだつた。飛田。この一帯には一泊三
十円―百円の安宿が約百三十軒、一泊百円以上の旅館が八十軒以上あり日本最大の「ドヤ街」
をつくっている。

このドヤ街には全国から流れてきた一万人をこえる無籍者が群がり、そのほとんどが前科
持ちと警察では見ているほどで連日のように暴行、傷害事件などが絶えず、また付近には十
円、二十円で腹を満たせるめし屋、私設防空の手配師、盗品をさばく立ちん坊、古物商など
があるのだと迫られる天国。

■ 迫られる者の天国 ― 読者/2 朝

―この事件を機会に考えなくてはいけない
のはわたくしたちがドヤ街の人びとに深い理
解と思いやりがたりなかつたことだ。
金ヶ崎ははきためだ。世の中には「箱も

必用だという人もあるがゴミはない方がよいのだからゴミ箱は美しくするのが本当でドヤの人びとを責めるより治安、行政当局をはじめ

出直し「明るい西成づくり」／鉄筋街、秋に着工／騒動をお訓に改造

「釜ヶ崎」の環境浄化について大阪市は民生、建築両局合同で昨年秋から改造計画を進めていた。すでに愛隣会館が完成、続いて福祉センター、鉄筋アパートなどを建設、街灯も完備して町を明るくする方針だ。だが、こんどの事件をきっかけに釜ヶ崎改造計画を強くおし進めていくことになった。

この計画では、釜ヶ崎の明るい町づくりの拠点として取りあえず二つの福祉センターを建設、地元住民で実質委員会を組織して町ぐるみの運動をすすめる一方バラック街を近代的な鉄筋街に改造する構想。

8/2タ

てバラックの居住者を入れる。あき家になったバラックをとりこわしてそのあとへまたアパートを建てる。公園予定地の住宅地への転用は都市計画法でできないことになっているので建設省に承認を求める。

アパートは鉄筋の高層建てとし六畳一戸、共同炊事場、共同便所をつくり、家賃は二百一三百円程度におさえ、一階は福祉センターにして内職あつせんや生活指導等をする。建築時期や戸数、予算は近く府、市対策協議会で定めるが、市は九月市会で一億円程度の追加予算を組み年内に着工する。

▼ボスの押取排除——釜ヶ崎ではクズ拾い、内職、日雇、宿舍などいすれもボスから中肉押取られ、その日暮らしがせいじつ。このためクズ拾い、廃品回収の面ではこんど奇世屋の元締めと話し合っ、こしにたいに会社組織にきりかえるよう指導する、この資金は市が世話する。またドヤ街の居住者はほとんどが二畳一戸で一日百円、月三千円―四千円の島

わたしたちがもっと努力しなければならぬ。土井指美西成区子どもを守る会

会長談 8/2タ

西成署付近に防犯灯

府、市、府警の連絡協議会

釜ヶ崎の行政対策は別に府、市が協議することにし、とりあえず暗いところをなくし住民の不安をとりのぞくため、西成警察署付近の道路に府、市が計三百万円をかけて防犯灯を設けることを決めた。

8/6朝

▼鉄筋住宅——ことしの予算に八千七百万円を計上、この秋から浪速区馬判助に鉄筋五階建て二むね四千二百五十七平方メートルのアパートを建てる計画だ。だが、この計画を大膽に拡張する。しかし建設用地の取得がむずかしいのでまず釜ヶ崎のなかにある公園予定地も市有地を敷き地に転用してアパートを建

家賃を払っているの、これは鉄筋街へのきりかえ計画と並行してアパートに収容する。

▼教育——釜ヶ崎地区には就学通知を受けながら登校しない子供が百五十人から三百人いると推定される。このため予定されている第一愛隣会館のなかに無籍の不就学児のための特別学級を小、中学校各二学級ずつつくる。この学級は一學級二、三十人とするが、年節別ではなく知能程度を基準に編成、学習のほかに生活指導もし、とくに中学では職業教育を重点に行なう。ここで一定の学力がつけば本校に編入するが、給食費、教科書代、進足費などは全額市費で負担する。

▼衛生対策——釜ヶ崎付近にはいま宮市民病院、西成保健所があるが、居住者はほとんど利用していない。このため釜ヶ崎に専任保健婦を配して積極的に働きかけさせる。居住者の衛生相談を受けるだけでなく市の医療機関を利用するよう啓発する。責任者をさがし

すぐ実施する。

8/5 大阪市民民生保健委員会
おける構想発表 8/6 朝

釜ヶ崎に府の分室 / 無料で職業紹介

ヤミ手配師も一掃

大阪府は、釜ヶ崎騒動の背景になつたヤミ手配師を一掃し、かれらの手にかかつていた府民者の就労を確保するため釜ヶ崎に「府労働部西成分室」(仮称)の設置を急いでいた。二十三日その設置場所が決まり、たので工事区進め九月一日から業務を開始する。

場所は西成区西四条三丁目、国道二十六号線(大阪-和歌山)と尼崎-平野線の交差点北東かどにある市の緑地帯(約六百六十平方メートル)で、ここに七十平方メートルのバウリングを急設。釜ヶ崎にいる千五百人の就労をあっせん。これら府民者がヤミ手配師に平均一日千円の賃金から二百-二百五十円もピンハネされる不満をなくしヤミ手配師の取り

とということである。

二重橋道といわれる日本社会の底辺は常に不安をはらみ、犯罪に好適な場を与えている。ところが今日まで、この底辺に光をあてえるような政治はほとんど行なわれなかつた。

大阪市では釜ヶ崎の環境浄化について改定計画をすすめる。要隘会館、福祉センター、鉄筋アパートなどを建設し、明るく町づくりをはじめているという。一日も早くこれらの計画が完成するよう期待する。しかしこれがすべてではない。社会保障の面から、労働政策の面から、あらゆる政策の面から困が幅広くなる。この底辺にあたり政治の光をなげかけるのではなければ問題は解決しない。第一、第三の釜ヶ崎事件を再び繰り返さぬよう、関係当局の積極的な施策を望みたい。 8/4 朝

——将来の対策としては逐次者たちを一つの地区に集中させないことだ。彼らに家を与えて分散させ一般市民が西成に侵どうして行けばいまいしい。無法の町は消えるだろう。

新まりを強化する。

これは臨時的な措置でせいせい一年とし、その間に宗教団体あるいは社会事業団体ほどの協力で、公益法人西成福祉センター(仮称)を新設、これに事務を引きつづはす。

8/24 朝

佐藤府知事、中井大阪市長の地元の人達への共同談話

このたびの事件はまことに残念です。問題の解決は生活の安定、環境の整備にあると考える。府市はそれぞれの責任でこれまでも努力してきたがさらに総合的な施策を検討し、問題解決にいっそう努力したい。どうか皆さんも健康で明るく町づくりに協力されることを心からおねがいしたい。 8/17 夕

読売社説 八月四日

——もっとも重要な点は、こんどの事件にみるようなごく単純な動機で、ただちで発火する群衆と、その群衆をかかえる無き地帯が、大都市の中にいっまでも残っているというこ

辻信阪大医学部精神科准教授(医博)

8/3 夕

根本的なことは西成に引かれ、お入らなさい。やさないことだ。

東田助町会長 浜崎成晴 8/3 夕

——どうしてここへ来ましたか？

——「勤労があるから」「知人に教えられて」「他に行くところなかつた」

——この土地をどう思いますか？

——「なんとかして他に移りたい」

——いまの暮らしをどう思いますか？

——「いやでたまらさい」

——暮らしに必要な衣・住・食を必要なものから順にあけて下さい

——「住・食・衣」

——人間にとつてなにが一番大切ですか？

——「丈夫なからだ」「円満な家庭」

——肉親は頼りになりますか？

——「他人よりましですが、頼れるとはか

「ぎらない」

「手紙は出していただけますか？」

「出さない」

相談ごとは誰としますか？」

「だれともしない」

「組合をどう思いますか？」

「頼りにならぬ」

「世間、組合、旅館、食堂に何を望みますか？」

「政府に」

「世間に」

「何とかしろ」

「組合に」

「もっと頼む目でみてくれ」

「旅館、食堂に」

「われわれでもうけているのだからもっとサービスしろ」

「仲間に」

「つまはじきされるようなこと

わたしは知事になる前、あの近くの大谷野

園の校長をしていた関係でドヤに泊まっ

ている知り合いも多い。だからこんどの騒ぎを

起こした人たちのことはかなり身近に感じ

ることができる。あの人たちが彼しているか

うかは別としてあの人たちが救えるのは血

通ったキメの強い政治しかない。私の上で住

宅問題、社会福祉をいくら論じても解決は

ない、むしろかしいことだが自分からあの

人たちのなかへ降りていかなければなら

ない。 佐藤真詮 大阪府知事談、8/4夕

大田 議長あいさつ

8/2

8/4夕

8/2夕

8/4朝、旗集手帳

27

26

25

24

23

22

21

20

19

「すると川みんはがめいわくす

る、もっと自覚をもとう」

大阪社会事業短大小南三平助手ら大阪

社会学研究会の意識調査（対象者二百

人のX式）の最多回答 8/8朝

「座談内にはなるが、かれらはこんどの事件

ほどハリがある日々を送ったことはなかつた

のではないが、自分たちの意見を表明する胆

識をもたないかれらは、われらも人間や、志

れんといってくれ」ということと肉体で表現し、

あんな悪力行為ではじめて社会とつながりを

もつ結果になる、この調査にみられるよう

にかれらは普通の社会人とそれほど違っ

てはいない、あるのは貧しさであり、かれらと

りまくスラムである。

「われわれが、救いようもない」と思っ

ていた人々にも、悪い方向ではあれ、あれほ

どのエネルギーを持っていた、そのことにわ

たしは驚きもし、いい方向さへ与えれば、救

える」と思っ、E、（小南三平）8/8朝

的にみて、そのような素朴な実情によつて目

的が運せられるかどうかというところやはり安

闘争はその限界を示しているのではないだろ

うか。……

「第一に労働者の団結と統一を強化すること

である。その統一と団結は労働者の身近な共

通の要求、つまり大幅賃上げの斗争によつて

かちとられる。……

「つぎに大切なことは未組織労働者を組織化

し、労働戦線に拡大してゆくことである、今

日衆はほぼ四百万人に達したとはいえ、こ

れは二千万人の労働者中の四百万人にすぎな

い。千数百万人の未組織労働者をわれわれの

隊列に加えることができたなら日本の政治勢力

は一変するだろう。

8/2夕

8/4朝、旗集手帳

27

26

25

24

23

〈付記〉この専欄は、主筆に昭和三六年八月当時の読売新聞大阪版マイクコロコペーに目玉差し編者水任意に部分抄出したものであり、一切改ざんしていない。例えは「読五朝」とあるのは、読売新聞八月五日朝刊の掲載記事中から抄出したということである。新聞記事である以上、記者の創作なり、読者うけする誇張はあると思うし、新聞者の生の声として受け取れるものは、ほとんどない。よく語り草とされるカー次運動が、どう一般社会から受けとられ、どう受けとられていっ、そのかというところが、新聞というものがさうであるからこそ、生々しいものとして再現されることを痛者口期待しているのである。

（通）
釜ヶ崎労働者生活協同組合
 ・センター販売部 毎週月・木曜朝5時 里手
 ・店（地図はリペイツ） 里手、里尾各種、タオル、
 インスタントラーメン、パン、牛乳、しょう油、漬物他
 広告

◆ 今月号の挿絵者に「好きは歌手」
 五きいてみました

岩田秀一（いわたしゅういち）＝五木ひろし菅原文太
 久保利明（くぼとしあき）＝和田アキ子・佐良直美
 寺島珠雄（てらしまたまお）＝五月みどり・ランク永井
 中島 敏（なかしま・とし）＝
 中原哲也（なかはら・てつや）＝都はるみ・森進一
 ワタリ（新読者の歴史調査会）＝小林旭・根岸衣子

郵便振替口座ができました。遠方の読者
 は利用して下さい！
 大阪27835 労働者渡世編集委員会

労働者渡世 第2号
 1975年1月8日発行
 『労働者渡世』編集委員会（編集人 中原哲也）
 〈連絡先〉〒557-91 西成郵便局私書箱31号